

本庄早稲田・リサーチパークニュース 12月号

本庄早稲田モビリティ共創プロジェクトの活動を通じて ～地域ニーズに応える新たなモビリティの可能性～

<本庄早稲田モビリティ共創プロジェクト>

本庄早稲田モビリティ共創プロジェクトの活動を通じて、地域社会に根差した新しい移動手段の可能性を探っています。2021年にスタートした本プロジェクトは5年度目を迎え、地産地活のモビリティとして第一種原動機付自転車（ミニカー）の製作や活用向け、展示や試乗体験を重ねてきました。開発した「HOWDY USE 2.0」はトラック型をベースに、後部荷台のパーツを交換することで多様な形態へと変化できる柔軟なモビリティです。箱型BOXや冷凍・冷蔵機能付きBOXを備えた配送車、バッテリーを積載したバッテリーカー、ごみ回収車など、地域ニーズに応じた幅広い用途に対応可能です。2025年度は、ジャパンモビリティショー（10/29～11/1 東京ビッグサイト）、ほんじょう産業フェスタ（11/15 本庄総合公園）、彩の国ビジネスアリーナ（11/18、11/19 さいたまスーパーアリーナ）に出展し、多くの来場者にミニカーの可能性を知っていただく機会となりました。今後も展示や体験を通じて、地域社会に根差した新たな移動手段の価値を広めていきます。



<地方における特例特定小型原動機付自転車の活用>

地方に暮らす多くの人々にとって、公共交通機関の利便性は都市部に比べて十分とは言えず、日常の買い物や通院、地域間の移動の多くを自家用車に頼っているのが現状です。しかし日本はこれから急速に高齢化が進み、車社会の地方において高齢者が免許を返納することは、生活の自由度や利便性の低下につながり、代替となる移動手段の確保が大きな課題となります。こうした状況を踏まえ、私たちは地方における特例特定小型原動機付自転車の可能性に注目し、4輪・3輪・2輪といった多様な車両や3輪電動アシスト付き自転車などを実際に試乗体験できる機会を提供しております。

今年度は、さいしんビジネスフェア2025（6/11 さいたまスーパーアリーナ）、ほんじょう産業フェスタ（11/15 本庄総合公園）において開催し、参加者が新しい移動手段を自ら体感することで、将来の暮らしにおける選択肢を広げ、地域社会における持続可能な交通のあり方を考えるきっかけとなることを目指しています。



本庄早稲田・リサーチパークニュース 12月号

本庄市市民総合大学

本庄市では市の将来像「あなたと活かす、みんなで育む、歴史と教育のまち 本庄 ～世のため、後のため～」を実現してゆく人材の育成と、市民一人ひとりが自己を高め、人格を磨き、幸せで豊かな人生を送ることができるように市民総合大学を設置しています。

市民総合大学は、本庄市第2次生涯学習推進指針である「学びの環境（人）づくり」、「学びのつながりづくり」、「学びの成果を生かす地域づくり」、「次世代育成の支援」、「文化芸術活動の支援」を実践することで、本庄市のひとづくりとまちづくりの原動力となり、全国に世界に誇れる素晴らしいまち、「本庄市」を実現することを目指しています。

市民総合大学では、各回の講座が活気ある雰囲気の中で進められています。受講生からは「専門的な内容をわかりやすく学べた。」「日常生活に役立つ知識が得られた。」といった声が寄せられ、学びの成果を実感していただいているいます。

講師の方々も、受講生の関心に応えるべく、資料の工夫や事例を取り入れるなど、わかりやすい講義を開催してくださっています。知識の伝達だけでなく、受講生同士が学びを共有し合い、新しい繋がりが生まれています。こうした積み重ねにより、講座は知識と人との出会いの両面で充実したものとなっております。

引き続き、市民総合大学の取り組みにご期待賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

講座風景



月1回受講コース
【日本の宇宙開発の歴史とこれから】



【1945(昭和20)年の戦争と政治
～本土決戦か、それとも早期和平か～】



【理科実験教室
～回り続けるコマを作ろう～】



【安心安全な食生活・摂食機能を高める基礎学習
乳児から大人まで Well-being を高める生涯学習】



【100mウォーキング
～美しく速く歩くことの効果～】



【あなたの絵を芸術作品にするための
コツ教えます！】

本庄早稲田・リサーチパークニュース 12月号

里川保全活動 つり体験教室 プロギングプラス

10月25日(土)、新幹線本庄早稲田駅前を流れる男堀川にて、「里川保全活動つり体験教室プロギングプラス」を開催しました。参加した小・中学生と保護者のほか、共催・協力企業団体と関係者を含め58名が参加し、ジョギングやウォーキングとごみ拾いを組み合わせたスウェーデン発祥の活動「プロギング」を体験。リサーチパークを出発して、約9kgのごみを集めながら男堀川でゴールしました。後半は、つり体験を行い、参加者全員がオイカワやタモロコなどを釣りあげることができました。活動を通じて、川周辺のごみがマイクロプラスチックごみ問題につながることや、身近な環境に生息する生き物の生態を知り、その生息環境を守ることの大切さを学んでもらう機会となりました。



本庄早稲田塾 第6回ゼロからの創業へのステップ

7月26日(土)に、創業支援の専門家による「創業入門セミナー」、創業・ベンチャー支援センター埼玉による「埼玉県の創業支援」、本庄・児玉地域による「本庄・児玉地域(1市3町)の創業支援」、地域の創業者による「創業の体験談」を実施し、15名の方々が参加されました。



本庄早稲田塾 第10回ゼロから始める創業スクール

2025年度は8月30日(土)から講義が始まり、創業に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓の知識や資金調達方法を学ぶとともにビジネスプランを作成し、最終日10月4日(土)には参加者10名の受講者が創業への想いがこもったビジネスプランを発表しました。その後の交流会では、当財団の吉田理事長の乾杯の挨拶のもと、受講生・講師・金融機関・修了生などとの活発な交流が行われました。



本庄早稲田・リサーチパークニュース 12月号

地域産業人材育成研修～本庄早稲田塾～

当財団では、地域の人材育成を支援するため、今年度も、階層別・実務専門別と幅広いプログラムを実施し、延べ数 64 社 128 名の皆様にご受講いただきました。

6 月には、「女性リーダーキャリアアップ研修」を開催し、(株)キャラウイット代表取締役の上岡実弥子先生を講師に迎え、7 社 10 名の中堅女性社員が役割認識や組織活性化などを学びました。同月の「ISO9001 基礎研修」では、ゼット・エフ・CV ソリューションズ・ジャパン(株)品質保証部長の菅生雅臣先生を講師に、9 社 25 名の受講者が ISO9001 規格の意図や概要、プロセスアプローチの有効活用などを学びました。

7 月の特別専門研修「健康経営実践研修」では、body & mind Gym Leun の小林千麻先生と井上雅喜先生、活き活き職場づくり研究所の中谷博之先生の 3 名を講師に迎え、6 社 17 名の受講者がストレスチェックの活用や職場でできるセルフケアを体験しました。同月の「新任管理監督者研修」では、2 日間にわたり、オフィスマッショングループ代表の田中久男先生を講師に、10 社 21 名の受講者がマネジメントの基本から部下の指導・育成、リーダーシップのあり方まで、管理職に必要な知識と姿勢を体系的に学びました。

9 月の「最強のセールストーク研修」では、(株)営業支援 Accept 代表取締役の赤嶺哲也先生を講師に、4 社 10 名の受講者が契約獲得の条件や商談先別のポイントなどを学びました。同月の「中堅社員ビジネススキルアップ研修」では、(株)キャリアアクトリー21 代表取締役の本間義昭先生を講師に、7 社 14 名の受講者が報連相や PDCA、ビジネスマナーなどを学びました。

10 月の「若手社員ステップアップ研修」では活き活き職場づくり研究所 代表の中谷博之先生を講師に、5 社 9 名の受講者がフォロワーシップや失敗から学ぶ考え方などを学びました。同月の「コミュニケーション研修」では、(株)NextEAP 代表取締役の宮川浩一先生を講師に、6 社 6 名の受講者がハラスメント防止やアンガーマネジメントなどを学びました。

11 月の「品質管理基礎研修」では、ゼット・エフ・CV ソリューションズ・ジャパン(株)品質保証部長の菅生雅臣先生講師に、10 社 16 名の受講者が品質概念や品質改善などを学びました。

各研修は、参加者の実務に直結する内容であり、アンケートでも高評価を多数いただきました。若手・中堅・管理職を対象とした体系的な階層別研修に加え、営業力や品質管理、コミュニケーションなど専門分野に焦点を当てることで企業競争力の強化と地域社会の人材育成に貢献しています。参加者同士の交流は異業種間の意見交換や共感を促し、新たな気づきを生みました。



本庄早稲田・リサーチパークニュース 12月号

本庄早稲田ビジネスプラットフォーム会員募集！

当財団では、手軽に利用できるシェアオフィス(本庄早稲田ビジネスプラットフォーム)を運営しています。JR 本庄早稲田駅（上越・北陸新幹線）徒歩 3 分、関越自動車道 本庄児玉 IC から近くの好立地！電車、自動車による都心へのアクセスにとても便利です！

- ◆利用時間：8:00～21:00（年末年始休業・施設点検日等を除く）
- ◆会費：¥10,000／月（税別）※6ヶ月分前払い

◆基本サービス

- ・ビジネス拠点としての住所、宅配便の受領
- ・会議室、オープンスペース、シェアードベース（机・椅子）の利用
- ・駐車場（1台分）、郵便ボックス、ロッカーの利用
- ・有線・無線 LAN インターネット接続、プリンターの利用
- ・講演会、ネットワーキングパーティ（交流会）への参加



詳細は、当財団の HP をご覧ください。

※随時、見学が可能ですのでお気軽にお問合せください。

イベントカレンダー

☆12月3（水）

「研究開発支援制度説明会」

☆12月7日（日）

「WASEDA HONJO ENGLISH KIDS」

☆2026年1月28日（水）

「埼玉北部地域 ビジネスマッチングフェア 2026」

【お問合せ先】

公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパーク

Tel : 0495-24-7455 Fax : 0495-24-7465

URL : <https://www.howarp.or.jp>

編集後記

今年度も、さまざまな学びの機会を提供しました。

本庄市民の方々を対象とした生涯学習講座「本庄市市民総合大学」では、参加者一人ひとりが幸せで豊かな人生が送れるよう充実した学習の場を支援しています。

また、10月には、小・中学生と保護者を対象とした「プログラミング」と「つり体験」を男堀川で行い、マイクロプラスチック問題や生き物の生態、生息環境を守る大切さを学ぶ機会となりました。12月には、小学5・6年生対象の「WASEDA HONJO ENGLISH KIDS」の開催を予定しています。こちらは、早稲田大学本庄高等学院の留学生や学院生たちと一緒に、英語を使ったゲームやクイズを楽しむ内容となります。次号で講座の様子をお届けします。

これからも、地域振興、研修事業、創業支援など、さまざまな取り組みを続けてまいります。